


## 沖繩国際大学 平成28年度 FD支援プログラム成果報告書

下記内容により、FD支援プログラムの取り組みが完了いたしましたので、「FD支援プログラム成果報告書」にて、ご報告いたします。

報告者氏名	上原 千登勢 	所属・職名	産業情報学科・講師
プログラム名称	英語関連教科における「アクティブラーニング」の導入に向けての視察・調査 -本学生をより能動的な学習者に育てるために-		
実施及び成果の要旨	<p><b>【アクティブラーニング授業導入内容】</b></p> <p>* ペアワーク・グループワーク、ロールプレイ、ブレインストーミング、メニュー作り、ゲーム、ミニプレゼンテーション、五感を使ったアクティビティ (洋楽・ビデオ鑑賞、お菓子試食)</p> <p>担当教科 (英語 I、II、ビジネス英語) において出来るだけ座学ではなく、上記のようなアクティブラーニングを取り入れた授業を行った結果、以下のような結果が得られた。</p> <p>◎ : 大いに効果が得られた ○ : ある程度効果が得られた △ : 効果が得られたか不明 × : 効果が得られなかった</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受け身ではなく、自分から進んで英語を学習するようになる。(○)</li> <li>2. 自分に合った学習スタイル・学習方法を見つけることができる。(△)</li> <li>3. 自分の得意・不得意なことから認識することができる。(◎)</li> <li>4. 教員からでなく、お互いから学ぶことができ、切磋琢磨できる。(◎)</li> <li>5. 英語に興味を持ち、学習を継続することができる。(○)</li> <li>6. 英語を単なる「教科」としてではなく、ツールとして活用することが出来る。(○)</li> <li>7. 英語力をあげることに繋がる。(△)</li> </ol> <p>* アクティビティ詳細はパワーポイント資料を参照。</p>		
実施期間	自 : 2016 年 5 月 7 日 (GW明けから本格的に実施) 至 : 2017 年 1 月 28 日 (授業最終日)		

※共同実施者 (2人以上の場合は、別紙添付のこと)

申請者氏名	印	所属・職名	
申請者氏名	印	所属・職名	



























